

入札公告

国立大学法人筑波大学において、下記のとおり一般競争入札に付します。
記

1 競争入札に付する事項

- (1) 件名 BNCT 用治療計画システムの悪性脳腫瘍対応機能の追加
- (2) 業務完了期限 令和6年3月15日

2 仕様書、契約条項並びに入札の説明等をする日時及び場所等

本件は、仕様書等関係書類の交付をもって当該説明を省略する。

仕様書等関係書類交付方法

仕様書等関係書類は、本公告に添付する。

問合せ先：〒305-8576 茨城県つくば市天久保2丁目1番地1

国立大学法人筑波大学病院総務部管理課（担当：吉原）

電話番号 029-853-3539

3 競争参加資格の確認のための書類及び履行できることを証明する書類等の提出期限等

- (1) 提出先 上記2の仕様書等関係書類交付場所と同じ。
- (2) 提出期限 令和5年12月20日 12時00分

4 入札の日時及び場所

- (1) 日時 令和5年12月27日 15時00分
- (2) 場所 〒305-8576 茨城県つくば市天久保2丁目1番地1
国立大学法人筑波大学附属病院B棟2階206管理課入札室

5 入札方法

落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

6 競争に参加する者に必要な資格

- (1) 国立大学法人筑波大学財務規則施行規程第46条の規定に該当しない者であること。
なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 国立大学法人筑波大学財務規則施行規程第47条の規定に該当しない者であること。
- (3) 国の競争参加資格（全省庁統一資格）又は国立大学法人筑波大学の競争参加資格のいずれかにおいて令和5年度に関東・甲信越地域の「役務の提供等」の「A」、「B」、「C」又は「D」等級に格付けされている者であること。
- (4) 請負に係る迅速なアフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていることを証明した者であること。
- (5) 契約担当役から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。

7 入札保証金及び契約保証金
免除する。

8 入札の無効

本公告に示した競争参加に必要な資格のない者の提出した入札書、その他国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則第15条第1項各号に掲げる入札書は無効とする。

9 契約書の作成

契約締結に当たっては、契約書を作成するものとする。

10 落札者の決定方法

本契約は、価格交渉落札方式とする。

国立大学法人筑波大学財務規則施行規程第53条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とし、その者と価格交渉を行ったうえで契約金額を決定するものとする。

以上公告する。

令和5年12月8日

国立大学法人筑波大学
分任契約担当役
附属病院長 原 晃

入札書提出の注意事項

- 1 入札書提出期限 令和5年12月20日 12時00分
(郵便(書留郵便に限る。))又は宅配便(以下、「郵送等」という。)で
発送する場合には提出期限までに必着のこと)
提出場所 〒305-8576
茨城県つくば市天久保2丁目1番地1
国立大学法人筑波大学病院総務部管理課 吉原
電話番号:029-853-3539
- 2 入札書は別添記載例を参考に別紙様式により作成し、直接に提出する場合は封書に入れ
密封し、その封皮には競争加入者本人の氏名(法人の場合は、その名称又は商号)及び
「12月27日開札 BNCT用治療計画システムの悪性脳腫瘍対応機能の追加の入札書在
中」と記載して提出すること。
郵送等により提出する場合は二重封筒とし、表封筒に「12月27日開札 BNCT用治療
計画システムの悪性脳腫瘍対応機能の追加の入札書在中」と記載し、中封筒の封皮には直接
に提出する場合と同様に氏名等を記載し、上記1の提出場所宛に入札書の提出期限までに
送付すること。なお、テレックス、電報、ファクシミリ、電話その他の方法による入札は認
めない。
- 3 いったん提出された入札書は引換え、変更、取消しをすることができない。
- 4 代理人が入札する場合は、入札時までには必ず代理委任状を一通提出すること。
- 5 入札書作成の注意
 - (1) 件名は仕様書記載のとおり省略せずに記載すること。
 - (2) 入札金額は算用数字を用いて明確に記載すること。
 - (3) 競争加入者本人の住所、氏名(法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名)を
記載し押印すること。
(ただし、代理人が入札する場合は、競争加入者本人の住所及び氏名(法人の場合は、
その名称又は商号及び代表者の氏名)、代理人であることの表示並びに当該代理人の氏
名及び押印)
 - (4) 日付を必ず記載すること。
- 6 無効の入札書
入札書で次のいずれかに該当するものは、これを無効とする。
 - (1) 公告に示した競争に参加する者に必要な資格のない者の提出した入札書
 - (2) 件名及び入札金額のない入札書
 - (3) 競争加入者本人の氏名(法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名)及び押印
のない又は判然としない入札書
 - (4) 代理人が入札する場合は、競争加入者本人の住所及び氏名(法人の場合は、その名称又
は商号及び代表者の氏名)、代理人であることの表示並びに当該代理人の氏名及び押印の
ない又は判然としない入札書(競争加入者本人の氏名(法人の場合は、その名称又は商号
及び代表者の氏名)又は代理人であることの表示のない又は判然としない場合には、正当
な代理人であることが代理委任状その他で確認されたものを除く。)
 - (5) 件名に重大な誤りのある入札書
 - (6) 入札金額の記載が不明確な入札書
 - (7) 入札金額の記載を訂正したものでその訂正について印の押してない入札書
 - (8) 入札書提出期限までに到達しなかったもの
 - (9) その他入札に関する条件に違反した入札書

7 開札

- (1) 開札は、競争加入者又はその代理人（以下「競争加入者等」という。）を立ち合わせて行う。ただし、競争加入者等が立ち会わない場合は、入札事務に関係のない職員を立ち合わせて行う。
- (2) 開札場には、競争加入者等並びに入札事務に関係のある職員（以下「入札関係職員」という。）及び上記（1）の立会職員以外の者は入場することはできない。
- (3) 競争加入者等は、開札時刻後においては、開札場に入場することはできない。
- (4) 競争加入者等は、開札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ、身分証明書を提示すること。この場合、代理人が上記4に該当する代理人以外の者である場合にあっては、代理委任状を提出すること。
- (5) 競争加入者等は、分任契約担当役が特にやむを得ない事情があると認められる場合のほか、開札場を退場することはできない。
- (6) 開札をした場合において、競争加入者等の入札のうち、予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、再度の入札を行う。この場合において、競争加入者等のすべてが立ち会っている場合にあっては直ちに、その他の場合にあっては別に定める日時において入札を行う。

8 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

9 落札者となるべき者が二人以上あるときは、直ちに当該競争加入者等にくじを引かせ、落札者を決定するものとする。また、競争加入者等のうち出席しない者又はくじを引かない者があるときは、入札執行事務に関係ない職員がこれに代わってくじを引き落札者を決定するものとする。

10 落札決定の日から7日以内（契約の相手方が遠隔地にある等特別の事情があるときは、指定する期日）に契約書の取り交わしをするものとする。

11 落札者の決定方法は、価格交渉落札方式とする。

国立大学法人筑波大学財務規則施行規程第53条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とし、その者と価格交渉を行ったうえで契約金額を決定するものとする。

12 競争参加資格の確認のための書類及び履行できることを証明する書類等

この一般競争に参加を希望する者は、封印した入札書に別封の競争参加資格の確認のための書類及び履行できることを証明する書類等を下記の期日までに提出すること。提出された書類は本学技術審査委員会にて審査し、合格した者のみ本入札に参加できる。

なお、本学職員から当該書類その他入札公告において求められた条件に関し、説明を求められた場合には、競争加入者等の負担において完全な説明をしなければならない。

(1) 競争参加資格の確認のための書類

- ・令和5年度に係る一般競争（指名競争）参加資格審査結果通知書
（全省庁統一資格又は国立大学法人筑波大学の競争参加資格）の写し……………1部
- ・アフターサービス・メンテナンスの体制表……………1部

(2) 履行できることを証明する書類

- ・技術審査申請書（様式1）……………正本1部、副本2部
- ・技術仕様書……………3部
- ・工程表……………3部

- ・同種業務の実績表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3部
- ・仕様書「5. 作業実施にかかる条件」を満たすことが証明できる書類・・・・・・・・ 3部
- (3) その他提出書類
 - ・参考見積書（人工等内訳を記載し、備考欄等に仕様書「3. 製作仕様」の該当箇所を記載すること）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部
 - ・人工単価証明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部

(注) 上記提出書類の他、補足資料の提出を求める場合がある。

提出期限 上記1の入札書提出期限と同じ
(郵送等で発送する場合には提出期限までに必着のこと)

提出場所 上記1の提出場所と同じ

1.3 その他

(1) この契約に必要な細目は、以下によるものとする。

- ・国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則
<https://www.tsukuba.ac.jp/about/disclosure-ho-kisoku/s-03/>
- ・役務提供契約基準
<https://www.tsukuba.ac.jp/about/bid-contract/#kijun>

(2) 添付資料

- ① 仕様書
- ② 契約書(案)
- ③ 入札書様式
- ④ 入札書記載例
- ⑤ 委任状参考例
- ⑥ 参考見積書の提出に係る留意事項について

様式1

技 術 審 査 申 請 書

令和 年 月 日

国立大学法人筑波大学 御中

(申請者)
住 所
会 社 名
代表者名

㊞

下記の入札に関し、関係書類を提出しますので技術審査願います。

記

1 入札の件名

BNCT 用治療計画システムの悪性脳腫瘍対応機能の追加

2 添付書類

- ・ 令和5年度に係る一般競争（指名競争）参加資格審査結果通知書の写し・・・・・・・・1部
- ・ アフターサービス・メンテナンスの体制表・・・・・・・・・・・・・・・・1部
- ・ 技術仕様書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3部
- ・ 工程表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3部
- ・ 同種業務の実績表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3部
- ・ 仕様書「5. 作業実施にかかる条件」を満たすことが証明できる書類・・・・・・・・3部
- ・ 参考見積書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
- ・ 人工単価証明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部

【提出資料に対する照会先】

会社名・所属：

担当者名：

連絡先：

仕 様 書

1. 件 名 BNCT 用治療計画システムの悪性脳腫瘍対応機能の追加
2. 納 入 場 所 筑波大学 4E 棟 5 階 505 室
3. 納 入 期 限 令和 6 年 3 月 1 5 日
4. 内 容 別紙のとおり
5. 代 金 の 支 払 請負代金は、業務履行確認後、適法な請求書を受理した日から起算して 4 0 日以内に支払うものとする。
6. 請 求 書 の 送 付 請求書は、国立大学法人筑波大学病院総務部管理課に送付するものとする。
7. そ の 他
 - (1) 請負者は、業務上知り得た秘密を第三者に漏らし、その他の目的に利用してはならない。また、本契約終了後も同様とする。
 - (2) この契約に必要な細目は、国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則及び役務提供契約基準によるものとする。
 - (3) 別紙の業務内容に記載されていない作業が必要となった場合は、その費用と納期について両者で協議を行うものとする。
 - (4) その他詳細については、本学担当職員の指示によるものとする。

別紙

1. 概要

筑波大学陽子線医学利用研究センターでは、加速器中性子によるホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) の治療を実現するため、これまでに開発整備した直線型陽子線加速器ベース BNCT 治療装置の実証機である“iBNCT001”の薬事承認申請に向けて、同装置による治験を実施する計画である。この治験実施に向けて、治験実施に必要となるシステムの開発整備と検証を実施する。本作業は、このAMED 橋渡し研究・シーズ C 活動の一環として、治療計画の立案に用いる BNCT 用治療計画システム (開発コード: ツクバプラン) に対して、悪性脳腫瘍への照射に対応する機能を追加する。

2. 開発条件

- ・ 動作環境 OS : Windows 10 系 (x64 Edition) もしくは Linux
- ハードウェア : Windows もしくは Linux が動作する PC
- ・ 開発言語 : JAVA、C 言語
- ・ 扱うシステム : 筑波大学でこれまで開発したモンテカルロ治療計画システム
- ・ 扱う画像データ : DICOM フォーマット
- ・ 扱う医療データ : DICOM-RT フォーマット
- ・ 扱う計算コード : 汎用モンテカルロコード: PHITS
- ・ グラフィックカードなどのハードウェア、OS のマイナーバージョンアップに依存しないこと。
- ・ 取り扱うデータの大規模化を踏まえ、64bit システムとして開発を行うこと。
- ・ 作業を的確かつ効率的に進めるため、作業に必要な打ち合わせを適宜行うとともに、打ち合わせ後速やかに議事録を作成すること。また、製作物の不具合への対応、修正作業を速やかに実施できること。
- ・ 著作権はすべて筑波大学に譲渡するものとし、ソフトウェアに対して「Copyright© 2023 University of Tsukuba. All Right Reserved.」及びバージョン番号等の記述を入れること。

3. 製作仕様

これまで筑波大学で開発してきた BNCT 用モンテカルロ治療計画システム (以下、ツクバプラン) に対し、以下に示す機能を追加する。

本作業については、個々の機能が完成する毎に、筑波大学にインストールしている現行版のツクバプランにアップデートを行い、それぞれの機能について動作確認を行うものとする。また、各機能の制作順 (スケジュール) は、筑波大学との打合せによって決定するものとする。

- 3-1 BNCT の治療計画では腫瘍 (Tumor) 領域の定義が複雑 (複数の GTV と PTV が必要) であることを考慮し、ひとつの腫瘍のみでなく、複数の腫瘍 ROI が設定できるようにすること。また、複数設定された腫瘍の ROI がユーザーの混乱を招かぬよう、それぞれの視認性を高めること。
- 3-2 脳内に設定した腫瘍 (GTV) に対して等幅拡張機能を用いて領域を広げた際、骨や皮膚の外側にはみ出して設定される場合、自動 (または半自動) 的にはみ出さないよう設定できること。
- 3-3 登録されている治療計画データベースのうち、特定 ID の治療計画だけを他のツクバプランにコピーできる機能を備えること。なお、プランのコピー&ペーストを行う際は安全性を担保するため、Administrator 権限のみで実行できるようにし、中間ファイルは暗号化を施すこと。

- 3-4 プレ処理において **Target Point** を 2次元画面にも表示し、ユーザーが任意の位置に移動できるようにすること。なお、**Target Point** における線量値が必要になるので、ROI として設定できること。自動的に ROI 化できない場合には、ユーザーに **Target Point** を ROI として決定するよう促すメッセージを出すこと。
- 3-5 **Target Point** とビーム入射角の設定値からビーム中心軸が通るパスを自動的に計算し、2次元画面に表示すること。また、ビームの人体への入射点についても表示をすること。
- 3-6 線量制約を規定する指標である **D2cc** を正確に計算する機能を備えること。
- 3-7 ポスト処理画面における **Tumor View** と **Normal View** について、複数の腫瘍 ROI (前述の **GTV** と **PTV**) が設定された時に混乱なく視認できるよう、表示方法や画面設定に工夫すること。
- 3-8 現行の **Maintenance tool** 機能を実装し、ツクバプラン上で直接 **PHITS** の計算結果が取込めるよう処理を行うこと。
- 3-9 **PHITS** インputファイルの座標体系を修正し、実座標系との整合性を図ること。
- 3-10 ポスト処理の **Combination** 画面の変更および **JSON** ファイル出力情報の変更を施すこと。**Combination** 画面に表示される各数値は、はじめにユーザーが登録した値を正しく引継ぐこと。
- 3-11 現状のポスト処理画面は上部に「**Normal view**」ならびに「**Tumor view**」に二次元線量分布、下部に **DVH** の表示となっているが、複数の腫瘍 ROI が設定されることに対応し、画面表示方法を修正すること。**DVH** に関しては **Histogram** タグで表示できるようにすること。
- 3-12 ポスト処理画面で二次元線量分布を表示させる際のホウ素濃度設定は、ユーザーが各 ROI 属性に対して設定した「**user-defined**」モードを基本に、全ての ROI が低ホウ素濃度 (**Normal tissue**) 設定のモード、並びに腫瘍部分の視認性を高めたモードに切り分けて表示できるよう変更し、現在ホウ素濃度がどのような設定になっているかを確認できること。
- 3-13 上記 3-12 に対応して **DVH** が追従すること。
- 3-14 2つ目の画像として **MRI** 画像を読み込み、この画像上に設定した ROI を 1つ目の **CT** 画像上に **Fusion** する機能を実用化すること。**CT** 画像に対して正確に **MRI** 画像の ROI を重ね合わせることができる。重ね合わせた後に調整、修正ができること。
- 3-15 加速器の制御系 (**EPICS (PLC)**) に対して電荷量データを転送するシステム “**TCS**” とツクバプランを連動させ、**TCS** 側からの指示により、設定したホウ素濃度等の条件に従ってポスト処理を実行し、算出した電荷量値、照射時間値、**DVH** データを **TCS** 側に転送する機能を実装する。**TCS** からの指示を受け取って処理を行い、処理結果を **TCS** 側に転送する API を製作して組み込む。ツクバプランは、**TCS** のサーバーシステムがインストールされている **Windows** サーバー上にインストールするものとする。
- 3-16 筑波大学附属病院に設置しているユーロメディテック社製 **MIM Maestro** で作成、出力した **DICOM-RT Structure** のデータを読み込み、同データ上に設定されている ROI 情報をツクバプラン側に移して表示する機能を実装する。
- **Private Tag** のデータは扱わないものとする。
 - **MIM** の ROI を構成する座標点情報を現状のツクバプランの ROI 領域に移し込む方法については、別途筑波大学と打合せして決定するものとする。

4. 動作検査

3. で示す各機能を追加したシステムを用いた動作試験を実施し、製作物が仕様どおりの機能を有することを確認する。本確認作業は筑波大学において実施する。

5. 作業実施にかかる条件

本作業は医療分野と工学分野の境界領域(医学物理分野)の技術に関する製作作業であり、また、モンテカルロ法による線量計算も実施するシステムの製作であり原子力学、放射線工学の分野のノウハウも必要となる。従って本作業を納期までに確実に実施するため、本作業実施においては以下に示す条件を満たすこと。

- 5-1 BNCT用治療計画システムの開発実績があること。
- 5-2 CT、MRI等医療画像、DICOMフォーマット及びDICOM-RTフォーマットのデータを扱った治療計画システム関連のソフトウェア開発の経験があること。計算コードにモンテカルロ法を扱うことから、モンテカルロベースの医療用線量評価システムの開発経験を有すること。
- 5-3 医療画像データを基に構築した人体の3次元モデルを3次元描画させることから、このような画像処理技術を用いた業務を行った実績を有していること。
- 5-4 Javaによるシステム開発を行うため、開発担当者は、Sun Microsystem認定のJavaプログラマーの資格、もしくは、サーティファイJava能力検定2級以上を有していること。
- 5-5 個人情報である医療データを取り扱う技術の開発を行うことから情報セキュリティマネジメントシステム(ISO27001/ISMS)認証を取得していること。また、情報セキュリティマニュアルを提出できること。

6. 提出図書等

書類名	提出時期	提出部数
1) 工程表	着手前	3
2) 打ち合せ議事録	打ち合せ後すみやかに	3
3) 製作報告書	すべての作業終了後速やかに	3
4) 制作したプログラムのソース※	すべての作業終了後速やかに	1
5) 操作マニュアル※	すべての作業終了後速やかに	1

※CD-ROM等による電子媒体での提出

7. 検収条件

製作したソフトウェアが4.に示す動作検査に合格し、6.に定める全ての図書等とともに製作したソフトウェアが提出され、貸与したデータ等が返却されたことをもって検収とする。

8. その他

- 8-1 本製作に伴って貸与する医療画像データ、DICOM-RTデータは、第三者への提示、コピー等を行わないこと。作業終了後速やかに返却すること。
- 8-2 本製作遂行のために必要な図書類は貸与する。貸与した図書類は作業終了時に返却すること。
- 8-3 本製作の内容は筑波大学の承認なく第三者に開示しないこと。

請負契約書(案)

件名 BNCT 用治療計画システムの悪性脳腫瘍対応機能の追加
請負代金額 金 円也

うち取引に係る消費税額及び地方消費税額金 円也(消費税法第28条第1項及び第29条並びに地方税法第72条の82及び第72条の83の規定により算出したもので、請負代金額に110分の10を乗じて得た額である。)

発注者 国立大学法人筑波大学分任契約担当役附属病院長 原 晃(以下「甲」という。)
と 請負者 (以下「乙」という。)との間において
上記の請負業務(以下「業務」という。)について、上記の請負代金額で、次の条項により請負契約を結ぶものとする。

第1条 乙は、別紙の仕様書に基づいて業務を遂行するものとする。

第2条 納品物は、国立大学法人筑波大学附属病院陽子線医学利用研究センターに納入するものとする。

第3条 納入期限は、令和6年3月15日とする。

第4条 納品書は、国立大学法人筑波大学病院総務部管理課に送付するものとする。

第5条 請負代金は、1回に支払うものとし、検査終了後、適法な請求書を受理した日から起算して40日以内に支払うものとする。

第6条 請負代金の請求書は、国立大学法人筑波大学病院総務部管理課に送付するものとする。

第7条 この業務について、乙が引渡しを完了したのち、12月(または1年)以内に、甲がかしを発見したときは、ただちに製品または製品の部品を取り替えるものとする。この取替えに要した費用は乙の負担とする。

第8条 契約保証金は、免除する。ただし、乙の故意又は重大な過失により請負が著しく遅延するおそれがあるときは、甲は、契約を解除することができるものとする。この場合において、乙は契約額の10分の1に相当する違約金を甲に支払うものとする。

第9条 この契約に定めるもののほか、必要な細目は、国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則及び役務提供契約基準によるものとする。

第10条 この契約について、甲乙間に紛争を生じたときは、両者協議により、これを解決するものとする。

第11条 この契約に定めのない事項について、これを定める必要がある場合は、甲乙間において協議して定めるものとする。

上記契約の成立を証するため、甲乙は次に記名し印を押すものとする。

この契約書は2通作成し、双方で各1通を所持するものとする。

令和 年 月 日

甲 茨城県つくば市天久保2丁目1番地1
国立大学法人筑波大学
分任契約担当役
附属病院長 原 晃 ⑩

乙 【住所】
【法人等名】
【代表者等氏名】 ⑩

入札書様式

入 札 書

件名 BNCT用治療計画システムの悪性脳腫瘍対応機能の追加

入札金額 金 円也

国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則を熟知し、仕様書に従って上記の業務を履行するものとして、入札に関する条件を承諾のうえ、上記の金額によって入札します。

令和 年 月 日

国立大学法人
筑波大学 御中

競争加入者
住 所
会 社 名
代表者氏名

印

記載例 1 (代理人が入札する場合)

入 札 書

件名 BNCT用治療計画システムの悪性脳腫瘍対応機能の追加

入札金額 金 円也

国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則を熟知し、仕様書に従って上記の業務を履行するものとして、入札に関する条件を承諾のうえ、上記の金額によって入札します。

令和 年 月 日

国立大学法人
筑波大学 御中

競争加入者

〇〇県〇〇市〇〇 〇-〇-〇
〇〇〇〇株式会社
代表取締役 〇 〇 〇 〇

代表者の押印は不要

代理人

〇〇〇〇株式会社
〇〇支店長 〇 〇 〇 〇 印

又は
代理人 〇 〇 〇 〇 印

記載例 2 (復代理人が入札する場合)

入 札 書

件名 BNCT用治療計画システムの悪性脳腫瘍対応機能の追加

入札金額 金 円也

国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則を熟知し、仕様書に従って上記の業務を履行するものとして、入札に関する条件を承諾のうえ、上記の金額によって入札します。

令和 年 月 日

国立大学法人
筑波大学 御中

競争加入者

〇〇県〇〇市〇〇 〇-〇-〇

〇〇〇〇株式会社

代表取締役 〇 〇 〇 〇

復代理人 〇 〇 〇 〇 印

代表者の押印は不要

参考例 1 (社員等が入札の都度競争加入者の代理人となる場合)

委 任 状

令和 年 月 日

国立大学法人筑波大学 御中

委任者 (競争加入者)

〇〇県〇〇市〇〇 〇-〇-〇

〇〇〇〇株式会社

代表取締役 〇 〇 〇 〇 印

私は、〇〇 〇〇を代理人と定め、下記は一切の権限を委任します。

記

件名：BNCT用治療計画システムの悪性脳腫瘍対応機能の追加

- 委任事項
- 1 令和 年 月 日筑波大学において行われる上記一般競争入札の開札立合及び再度入札に関する件
 - 2 令和 年 月 日提出期限の上記一般競争入札の入札書作成に関する件 (※注1)

受任者 (代理人) 使用印鑑



(注) 1 事前に提出する入札書を代理人 (入札書記載例1の社員等) が作成する場合は、委任事項2が必要となる。競争加入者 (代表者) 又は代理人 (入札書記載例1の支店長等) が作成する場合は、委任事項2は削除すること。

2 これは参考例 (様式及び記載内容) であり、必要に応じ適宜追加・修正等 (委任者が任意の様式で作成するものを含む。) があっても差し支えないこと。

参考例3（支店等の社員等が入札の都度競争加入者の復代理人となる場合）

委 任 状

令和 年 月 日

国立大学法人筑波大学 御中

委任者（競争加入者の代理人）

〇〇県〇〇市〇〇 〇-〇-〇

〇〇〇〇株式会社

〇〇支店長 〇 〇 〇 〇 印

私は、〇 〇 〇 〇を〇〇〇〇株式会社 代表取締役〇 〇 〇 〇（競争加入者）の復代理人と定め、下記は一切の権限を委任します。

記

件名：BNCT用治療計画システムの悪性脳腫瘍対応機能の追加

- 委任事項
- 1 令和 年 月 日筑波大学において行われる上記一般競争入札の開札立合及び再度入札に関する件
 - 2 令和 年 月 日提出期限の上記一般競争入札の入札書作成に関する件（※注2）

受任者（競争加入者の復代理人）使用印鑑



- (注) 1 この場合、競争加入者からの代理委任状（復代理人の選任に関する委任が含まれていること。）が提出されることが必要であること。（参考例2を参照）
- 2 事前に提出する入札書を復代理人（入札書記載例2）が作成する場合は、委任事項2が必要となる。競争加入者（代表者）又は代理人（入札書記載例1）が作成する場合は、委任事項2は削除すること。
- 3 これは参考例（様式及び記載内容）であり、必要に応じ適宜追加・修正等（委任者が任意の様式で作成するものを含む。）があっても差し支えないこと。

【参考見積書の提出に係る留意事項】

提出していただく見積書は、応札希望者から本学の契約事務の一環として市場調査するために提出していただく書類です。

したがって、見積書に記載する価格は安易に契約不可能な価格を記載することがないように、且つ、見積書と応札価格に極端な乖離が生じないように仕様書の内容を十分に精査したうえで価格を記入し提出願います。

また、応札価格は提出された見積書の価格と同価又はそれ以下となるよう応札願います。万が一、応札価格が見積書の価格よりも高くなるような事態が生じた場合には、本学の適正な契約手続を妨害した不誠実な行為として、取引停止措置を講じる場合があります。

本学で取引停止措置を講じた場合には、他の国立大学法人や国の関係機関（以下、「国立大学法人等」という。）にその情報が通知されますので、その情報を受けた国立大学法人等においても取引停止措置を講じる場合があることを認識願います。